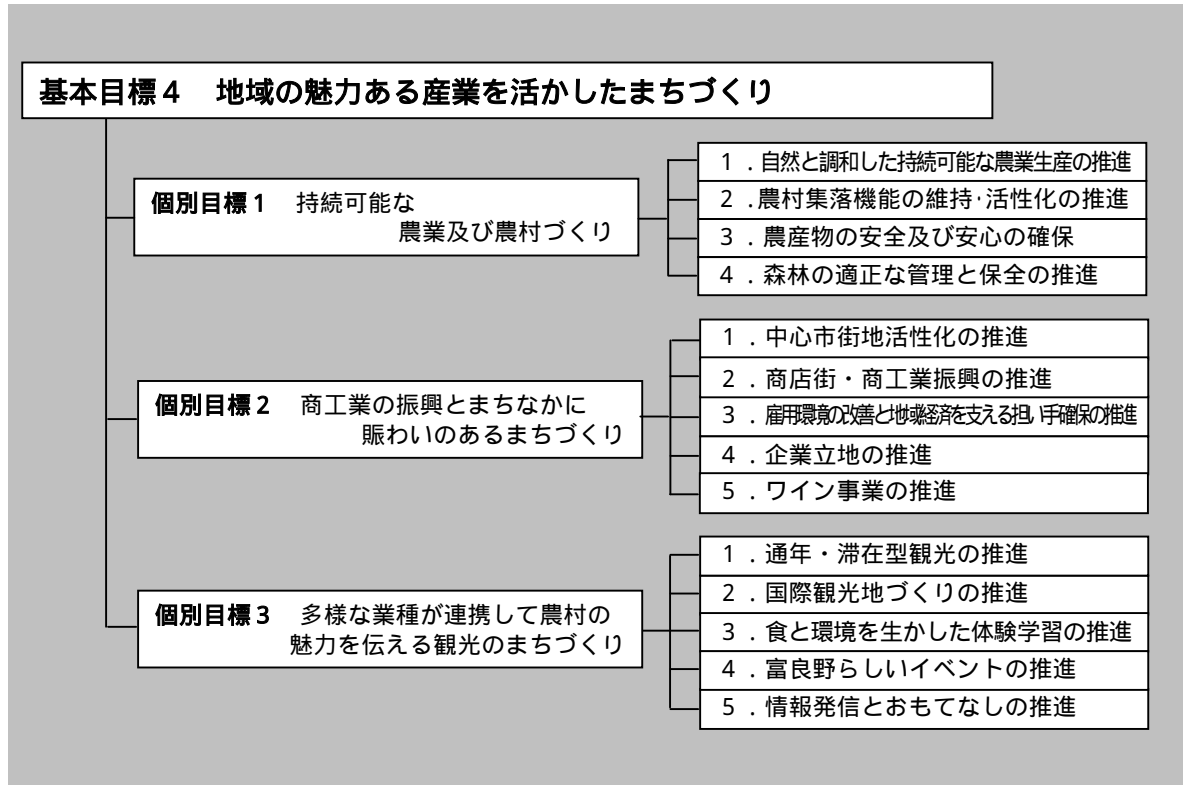


## 第4章

### 基本目標4 地域の魅力ある産業を活かしたまちづくり



# 個別目標 1 持続可能な農業及び農村づくり

## 基本構想に掲げた施策の方向

- ・農業及び農村を持続的に発展させるために、農業者や地域の主体性と創意工夫を支援し、農業の新たな成長を支える人材を育成するとともに、消費者の信頼獲得に向けた法令順守を徹底し、環境保全を重視した農業をめざします。
- ・また、地球温暖化防止など環境に配慮した森林の形成をめざします。

## 現況と課題

- ・本市の農業は、土地生産性が高い特徴をもち、生産基盤の整備や新しい技術・作物の積極的な導入により大きく発展し、今では道内の主要な野菜産地となっています。しかし、国際化の進展や生産物価格の低迷など農業を取り巻く環境は一段と厳しさを増し、担い手の減少や高齢化の進行による生産力低下などの課題を抱えています。
- ・農村においては、高齢化や人口減少が進んでいることから、集落機能の低下が懸念され、また生活しやすい生活環境の維持が課題となっています。
- ・地球環境問題や安全・安心な食料に対する消費者の関心の高まりと美しい景観の形成、自然とふれあう場など、農業・農村のもつ多面的な機能を発揮することが求められています。
- ・林業は木材価格の低迷や生産コストの上昇、林業労働者の高齢化と減少が進んでいるところでありますが、森林は自然環境を支える重要な資源であり、森林の多面的機能を生かした活力ある森林整備が求められています。



## 推進施策

### 1. 自然と調和した持続可能な農業生産の推進

#### 施策の内容

- ・農業の持続的発展には、生産の3要素である土地、労働、資本を充実させることが基本となります。
- ・このため、経営感覚に優れた担い手の育成と確保、外部人材の受け入れ、営農組織の活性化を促進するとともに、生産基盤の整備、優良農地の確保と有効活用の促進など、農業経営発展の基礎となる条件整備を進めます。
- ・また、消費階層を明確にした農畜産物の生産確立を促進するとともに、環境負荷を最小限に抑えた営農環境を次世代に引き継ぐための生産活動の実践を推進します。

#### 成果指標

(資料) 農林課

項目	平成 20 年	平成 27 年	備考
農 家 戸 数	762 戸	600 戸	

#### 実施計画予定事業

実施を予定している事業の内容		H23	H24	H25	H26	H27
1. 農業計画策定事業	現行計画の検証と平成 26 年度からの新たな 5 ヵ年計画の策定及び審議会等の開催	新規				
2. 産業研修センター管理運営事業	農業後継者の育成、都市と農村の交流拠点施設の管理運営	継続				
3. アグリパートナー推進事業	適齢期を迎えた農業後継者のパートナー対策を推進し、経営の継承と安定を支援	継続				
4. 担い手対策推進事業	新規参入希望者の研修期間における生活支援、農家継承の検討、研修の開催	継続				
5. 農業労働力確保対策事業	援農ボランティア等の育成。農村での短期・中期研修を円滑に進めるための講座開設	継続				
6. 畜産飼料自給率向上対策	飼料作物の生産性と品質の向上を図るため、機械化や組織化、外部委託化等を支援	新規				
7. 経営体販売力強化支援事業	ネットなど新たな販売活動を支援のためのマーケティング、接遇などの研修会開催	継続				
8. 耕作放棄地対策事業	耕作放棄地の発生防止・再生利用の推進	継続				
9. 農業経営基盤強化資金利子助成事業	認定農業者が農地の取得や設備等を行うために借入れた本資金に係る利子を助成	継続				
10. 防衛施設周辺農業用施設設置事業	地域農業の活性化と経営安定のための補助	継続				
11. (債) 東部地区鹿柵設置事業助成金	平成 18 年度設置鹿柵の助成。H19-33 まで	継続				

実施を予定している事業の内容		H23	H24	H25	H26	H27
12. (債)東山地区鹿柵設置事業助成金	平成20年度設置鹿柵の助成。H20-24まで)	継続				
13. 強い農業づくり事業費補助金	生産性や品質の向上、経営力強化のための技術営農実証、機械整備費用に助成	継続				
14. 道営農業生産基盤整備事業	東郷北、東郷南、大沼北、山部御料の各地区	継続				
15. 国営造成施設管理体制整備促進事業	農業用水利施設の管理体制整備、推進活動	継続				
16. 市農業関連施設大規模修繕事業	ハイランドふらの、チーズ工場、農業体験者滞在施設、産業研修センターの修繕延命化	新規				
17. 栽培用ハウス促進支援事業	品質向上及び新規就農支援	継続				

## 2. 農村集落機能の維持・活性化の推進

### 施策の内容

- ・農村は農業生産の場だけでなく、耕地や森林の維持を通じて国土や環境の保全等の役割を担い、また、地域住民の生活の場として、郷土文化の伝承や相互扶助、相互補完の役割を担っています。
- ・農村集落機能の維持・活性化を図るため、地域と協働による効果的、効率的な生活環境の条件整備について調査研究を行うとともに、農村移住や都市との交流促進に必要な情報の提供に努めます。
- ・また、農村居住者と移住者、都市生活者などの連携を進め、それぞれが持っている知恵と力を集めた地域の創意工夫によるコミュニティ活動や地域づくりの実践的な取り組みを支援します。

### 成果指標

(資料) 農林課

項目	平成20年	平成27年	備考
農商工連携の活動グループ数	2組	5組	農林課が把握しているグループ

### 実施計画予定事業

実施を予定している事業の内容		H23	H24	H25	H26	H27
1. 農地・水・環境保全向上対策事業	農地や水路、農道等環境保全の地域活動支援	継続				
2. 中山間地域等直接支払事業	傾斜地等の農用地保全による多面的機能の確保、農業生産の維持、耕作放棄地の発生防止	継続				
3. 農村実態調査事業	農村活力を維持・活用できるよう、農村資源人材活用に向けた実態調査と方向性の検討	継続				
4. 農村活性化対策事業	農村実態調査を踏まえた活性化対策の推進	新規				

## 3. 農産物の安全及び安心の確保

### 施策の内容

- ・消費者からの信頼を今以上に獲得し、「ふらのブランド」の評価向上をめざし、消費者の安全志向に合致した農畜産物を安定的に供給できる体制の整備を促進するとともに、コンプライアンスを遵守し、一層の安全な生産に取り組む人材を育成します。
- ・消費者が要求する産地情報の適時提供及び双方向の情報交換ができる体制の整備を促進します。併せて地元及び都市生活者と生産者の交流を通じて安心できる産地であることをアピールします。

### 成果指標

(資料) 農林課

項目	平成20年	平成27年	備考
食の安全・安心に関する研修会の受講者数	54人	250人	平成27年度の受講者数は5年間の延べ数

## 実施計画予定事業

実施を予定している事業の内容		H23	H24	H25	H26	H27
1. 安全・安心農業推進事業	GAP 導入指導、食の安全安心マイスタープログラム開設、農産物コンプライアンス研修等	継続				
2. 家畜伝染防疫対策事業	自衛防疫組合を通じた消毒、衛生管理の徹底と防疫検査、予防注射の実施	継続				
3. 家畜防疫事業推進補助	家畜伝染病の防止、早期清浄化対策の支援	新規				

## 4. 森林の適正な管理と保全の推進

### 施策の内容

- ・富良野市森林整備計画に基づき、森林が持つ多面的機能に配慮しつつ、それぞれの機能に応じた森林の計画的な整備と適正管理を図ります。
- ・就業条件の整備により、林業労働者の育成・確保を図るとともに、林内道路網を有効に活用した間伐事業の合理化及び間伐材のチップ材やバイオマス活用の促進に努めます。
- ・また、市民や観光客が森林に親しむ体験学習や健康づくり、レクリエーション活動の場としての活用に努めます。

### 成果指標

(資料) 農林課

項目	平成 20 年	平成 27 年	備考
市有林面積	810ha	820ha	

## 実施計画予定事業

実施を予定している事業の内容		H23	H24	H25	H26	H27
1. 市有林造成事業	除間伐、造林、下刈りの計画的な実施	継続				
2. 民有林育成推進事業	森林組合が行う民有林育成指導強化事業及び人工造林事業、除間伐事業への助成	継続				
3. 市民が造る森事業	市民参加による植樹祭。ヘベルイ原始の泉周辺。500本/年	継続				
4. 森林作業員就業条件整備事業	道担い手対策基金条例による作業員の奨励金	継続				

## 個別目標 2 商工業の振興とまちなかに賑わいのあるまちづくり

### 基本構想に掲げた施策の方向

- ・富良野市中心市街地活性化基本計画に基づき、機能集約型の市民にとって暮らしやすい街をめざすとともに、まちなか居住の推進や観光客のまちなか誘導を進めます。
- ・中小企業などの経営基盤の強化や経営の安定化に向けた支援を充実し、地元企業の育成を図るとともに、消費者ニーズに即応した魅力ある商店街づくりをめざします。
- ・異業種間の連携や人材育成など企業活動の支援と地域資源やふらのブランドを生かした高付加価値化を図り、新分野進出や新産業の創出を図ります。
- ・定住人口の増加と地域経済発展のため、雇用の場の創出を図るとともに、社会の変化に対応した人材育成や雇用環境の整備を図ります。

### 現況と課題

- ・本市には中心市街地の2商店街振興組合と5商店会があり、さらに山部商店街、東山商店会が形成され、地域の居住者の消費生活の場としての役割を担っています。しかし、市内の小売店は、大型店舗の郊外進出と居住地域の郊外化により、中心市街地の流入人口の減少が加速し、空き店舗の増加や後継者不足等中心市街地の商業店舗は厳しい経営を続けており、大きな課題となっています。
- ・市民の生活様式や価値観の多様化など消費者ニーズが変化する中、消費者の視点に立った創造的な事業展開や起業化などが必要です。
- ・また、新たな産業として観光関連産業の形成を進めるとともに、特産品としての農畜産物加工など地域資源の高付加価値化などにより競争力を高め、販路拡大による地域経済の振興と雇用の創出が必要です。

### 推進施策

#### 1. 中心市街地活性化の推進

##### 施策の内容

- ・年間約200万人の観光客を中心市街地へと流入促進させ、市民や観光客がまちなかを歩き中心市街地を回遊する仕掛けや取り組みを総合的に行い、多様な人々が集うことによるにぎわい創出を図ります。
- ・総合的な生活環境が充実し、生活利便性の高さや人々のふれあい、生活文化にあふれた居住環境を備えたまちなか居住を推進することにより、中心市街地のにぎわいを創り出し、中心市街地の居住者数の増加をめざします。

##### 成果指標

(資料) 中心街整備推進課

項目	平成20年	平成27年	備考
1日当たり歩行者通行量	3,632人	4,000人	

##### 実施計画予定事業

実施を予定している事業の内容		H23	H24	H25	H26	H27
1. 中心街活性化センター「ふらっと」管理運営事業	健康増進、商業支援施設の維持管理費用	継続				
2. フラノ・マルシェ開発事業	市有地の有償貸付により、新たなまちなか回遊と賑わい創出による商業活性化の推進	継続				
3. 東4条街区地区第1種市街地再開発事業(ネーブルタウン)	ネーブルタウンとして細分化された敷地の統廃合し、日常生活機能と居住空間を集積する	継続				
4. サンライズパーク(仮称)開発事業	くしい跡地西側にまちなか駐車場を整備することによる賑わい通り形成と市街地回遊性の向上	新規				

#### 2. 商店街・商工業振興の推進

##### 施策の内容

- ・中心市街地活性化事業と連携して、消費者の視点に立った商店街組織の強化と近代

化の促進を図るとともに、新規開店や空き店舗の流動促進により魅力ある商店街を形成します。

- ・ 商工業等中小企業の経営基盤の強化を図るため、融資制度や経営指導体制の強化を図るとともに、製造技術等の向上や農業、観光、環境関連産業との連携による地場産品開発、ふらのブランドの積極的な活用などを通じて、地域産業の振興及び新産業、新分野への進出促進を図ります。

### 成果指標

(資料) 商工観光課

項目	平成 19 年	平成 27 年	備考
年間商品販売額	463 億円	472 億円	

### 実施計画予定事業

実施を予定している事業の内容		H23	H24	H25	H26	H27
1. 中小企業振興資金融資事業	金融円滑化による中小企業育成、経営合理化	継続				
2. 商工業パワーアップ資金融資制度	新規開業、起業化、共同施設、商店街活性化、情報近代化、土地購入等に係る金融円滑化	継続				
3. 小口緊急特別資金融資事業	事業運営の緊急つなぎ資金の特別融資	継続				
4. 中小企業経営改善指導事業	商工会議所、商工会が行う経営改善指導支援	継続				
5. 商店街活性化ソフト事業	街路灯、共同施設、空き店舗利用、空地活用、活性化イベント、従業員福利厚生などの推進	拡充				
6. 商店街街路灯改修推進事業	省電力・長寿命の LED 灯への順次交換推進	新規				
7. 店舗改修促進事業	空き店舗、新規開店等の流動促進と改修支援	新規				
8. 小売商業振興対策事業	商工会議所が行う地元購買促進事業の支援	新規				
9. 公設地方卸売市場運営調査事業	今後の市場運営に係る調査、方向性の検討	新規				

## 3. 雇用環境の改善と地域経済を支える担い手確保の推進

### 施策の内容

- ・ 勤労者福祉の向上と労働条件の改善を図るとともに、男女共同参画社会の実現に向け女性の社会進出や就業条件の整備に努めます。
- ・ 若年労働者の定着や女性の就業機会の拡大、高齢者や障害者の雇用促進、季節労働者の通年雇用化など雇用の安定を確保します。
- ・ 定住人口の増加と活力ある地域経済発展のため、働く場の創出と移住者の受入体制の充実に努めるとともに、即戦力となる職業能力の開発促進と人材育成を図ります。

### 成果指標

(資料) 商工観光課

項目	平成 20 年	平成 27 年	備考
年間延べ有効求人数	2,331 人	2,500 人	

### 実施計画予定事業

実施を予定している事業の内容		H23	H24	H25	H26	H27
1. 勤労者福祉推進事業	勤労者共済会を通じた勤労者の福祉向上と福利厚生事業の推進	継続				
2. 勤労者生活資金融資事業	冠婚葬祭、教育などの生活資金の貸付制度	継続				
3. 労働振興対策事業	労働者の地位向上、労働条件の改善などの労働振興対策活動を推進する団体への支援	継続				
4. 人材育成対策事業	富良野地域人材開発センターによる労働者や求職者、地域住民に対する職業教育訓練	継続				
5. 緊急雇用創出事業	非正規労働者、失業者に対し、次の雇用までの短期の雇用、就業機会を創出を図る	継続				
6. ふるさと雇用再生特別対策事業	地域の創意工夫を生かした雇用機会の創出	継続				

## 4. 企業立地の推進

### 施策の内容

- ・富良野地域の恵まれた地域資源を活用した新たな商品とサービスの創出により地域循環型経済の活性化を図るとともに、産業間の連携や新技術開発の推進を通じて、競争力の強化や新たな起業化、雇用の拡大を図ります。
- ・また、富良野・美瑛地域産業活性化協議会を中心とした企業立地促進の取り組みを強化し、地域資源、機械金属、産業支援、観光関連産業の4業種を重点に、地域内立地及び新規雇用をめざして企業誘致活動を推進します。

### 成果指標

(資料) 商工観光課

項目	平成20年	平成27年	備考
企業立地数	1	2	計画期間内の立地延べ数

### 実施計画予定事業

実施を予定している事業の内容		H23	H24	H25	H26	H27
1. 企業振興促進条例に基づく助成	工場等の新增設、雇用拡大に対する助成	継続				
2. 工場等誘致特別措置条例に基づく支援	地域資源関連産業等集積のための企業誘致	継続				

## 5. ワイン事業の推進

### 施策の内容

- ・ふらのワイン事業は、原料ぶどう栽培による農業所得の増大と製造販売を結びつけた付加価値の高い北海道を代表する地場産業としての地位を築き、「ふらのブランド」の先駆的な役割と観光産業の振興にも大きな役割を果たしています。
- ・ワイン事業の安定的な振興発展のために、引き続き原料ぶどう栽培農家の育成支援を図りながら、ふらのワインの品質向上をめざします。
- ・また、老朽化した施設の改修を行い、安全安心で消費者ニーズに応えるための新しい製品づくり、魅力ある見学施設の整備に取り組みます。

### 成果指標

(資料) ぶどう果樹研究所

項目	平成20年	平成27年	備考
ふらのワイン年間販売数	28.9万本	30万本	

### 実施計画予定事業

実施を予定している事業の内容		H23	H24	H25	H26	H27
1. 原料ぶどう確保支援事業	植栽補助金及び買い入れ価格の見直しによる原料確保と生産農家、新規植栽者の支援	新規				
2. ワイン製造施設等改修事業	製品製造室の改修、見学・展示室等の再整備	新規		設計		

## 個別目標 3 多様な業種が連携して農村の魅力を

## 伝える観光のまちづくり

### 基本構想に掲げた施策の方向

- ・富良野市の景観やロケ地観光といった夏季観光とスキーを中心とした冬季観光に加え、春・秋の観光魅力を開発及び再発見し四季を通じた通年型観光地づくりをめざします。
- ・積極的な外国人観光客の誘致活動を行うとともに、外国人の観光ニーズにあった受入体制の整備を行い、国際観光のまちづくりをめざします。
- ・農林業と観光業が連携し、農家生活の体験や農作業の体験を通し、農業の重要性や農村環境への理解を深め、環境にやさしい観光地づくりをめざします。
- ・郷土文化や魅力ある参加型イベントの開催、様々な体験型観光の推進と市民との交流の促進による満足度の高い、滞在型観光をめざします。



### 現況と課題

- ・少子高齢化による国内観光客の相対的減少の危惧があるなか、個人旅行や友人・家族旅行といった少人数による旅行形態の多様化が進んでおり、観光ニーズの多様化に対応した観光地づくりと国の観光立国による外国人観光客の増加に向けた国際的な観光地づくりが急務となっています
- ・農村景観は富良野市の魅力ある観光資源であり、また生産される農畜産物は食の観光としても大きな可能性を秘めており、観光事業者と農業者の連携が重要になります。

### 推進施策

#### 1. 通年・滞在型観光の推進

##### 施策の内容

- ・富良野独自の自然、山岳景観やラベンダーを中心とした花による観光、基幹産業の農業との連携による食の提供や農村体験、環境学習、演劇、スキーなど、富良野の観光は「強み」と「機会」に恵まれています。
- ・こうした多種多様な観光資源を異業種が交流連携して生かし、つなぎ合わせながら、季節偏差のない通年型観光地づくりを進めるとともに、観光振興による地域経済の活性化を図ります。
- ・また、富良野・美瑛、道北・旭川など広域的な連携を図り、魅力の向上と周遊日数の増加による滞在型観光の形成をめざします。

##### 成果指標

(資料) 商工観光課

項目	平成 20 年	平成 27 年	備考
年間延べ宿泊者数	65 万人	68 万人	

##### 実施計画予定事業

実施を予定している事業の内容		H23	H24	H25	H26	H27
1. 富良野・美瑛キャンペーン推進事業	自治体、民間企業との連携による広域観光の推進と滞在型観光地の形成	継続				
2. 観光地づくり推進事業	富良野らしい景観の保全と観光施設の整備のため仮称：環境・観光税の検討と導入	新規				
3. 通年型・滞在型観光推進事業	観光振興計画に基づく環境整備、各種事業、市民教育等の実践	継続				
4. ふらの観光協会補助事業	観光案内、パンフレット作成、ホスピタリティ、各種イベントなど協会の公益事業へ助成	継続				
5. 麓郷の森公衆トイレ管理事業	浄化槽検査など公衆トイレ維持管理経費	継続				
6. へそ公園整備事業	北海道の中心標のあるへそ公園環境整備	継続				
7. 登山コース整備事業	登山道の草刈り、橋、山小屋の維持管理	継続				
8. 自然環境活用センター管理運営事業	山部ふれあいの家維持管理及び運営経費	継続				



## 2. 国際観光地づくりの推進

### 施策の内容

- ・海外観光客のニーズに合った地域性豊かな受入れ基盤の整備を図るとともに、季節の魅力やイベント、郷土芸能などを中心にしたプロモーション活動を通じて誘客を推進します。
- ・市民が積極的に外国人と接する機会をつくり、富良野地域の文化の交流を図ります。
- ・外国人観光客が安心して、一人歩きできる環境整備を図ります。

### 成果指標

(資料) 商工観光課

項目	平成20年	平成27年	備考
外国人年間延べ宿泊者数	4.6万人	6.8万人	

### 実施計画予定事業

実施を予定している事業の内容		H23	H24	H25	H26	H27
1. サイン計画の策定	案内看板の乱立防止による景観の保全と効果的な観光客誘導を図るサイン計画の策定	新規				
2. 外国人観光客誘致対策事業	外国人観光客誘致のための人員配置、各種プロモーション、パンフレット等PR	継続				

## 3. 食と環境を生かした体験学習の推進

### 施策の内容

- ・富良野市の自然風景・農村景観を形成する農業と自然環境、森林、先進的リサイクルの取り組みを組み合わせ、富良野らしい食と環境が連携した体験学習により、付加価値のある観光振興を図ります。
- ・また、農業者、商工業者、宿泊施設、飲食店等による地元食材の積極的な利用促進を通じて、産消協働の推進、地域特産品の開発支援、地域の振興発展に取り組みます。

### 成果指標

(資料) 商工観光課

項目	平成20年	平成27年	備考
農家生活体験参加農家数	0	80	

### 実施計画予定事業

実施を予定している事業の内容		H23	H24	H25	H26	H27
1. 産消協働推進事業	地元食材利用を進めるグリーンフラッグ導入と加盟店拡大、農産物加工開発の支援など	継続				
2. 地域特産品振興対策事業	地域特産品の宣伝、普及、販路拡大のための道内外物産展への参加、市場調査など	継続				

## 4. 富良野らしいイベントの推進

### 施策の内容

- ・地域に根ざしたコミュニティが中心としたイベントと、地域経済や観光産業と連動した対外的な観光客の誘致につながるイベントを明確にし、魅力あるイベントによる観光振興を図ります。
- ・地域やNPO、団体等によるグリーンツーリズム、エコツーリズム、ウォーキングやサイクリング、トレッキングなど富良野独自の素材をつなぎ合わせた「ふらの版ネオツーリズム」の開発・発信を支援します。
- ・北海道を代表する「北海へそ祭り」や「ふらのワインぶどう祭り」「ふらのスキー祭り」の充実を図るとともに、スキースポーツ大会や演劇等を積極的に誘致し、観光の振興と地域経済の活性化を図ります。

## 成果指標

(資料) 商工観光課

項目	平成20年	平成27年	備考
3大イベント参加人数	8.9万人	9.9万人	へそ・ワイン・スキー

## 実施予定事業

実施を予定している事業の内容		H23	H24	H25	H26	H27
1. 北海へそ祭り実行委員会補助金	北海へそ祭りの開催運営に対する助成	継続				
2. 北海へそ踊り保存会補助事業	郷土芸能の保存、宣伝と後継者育成の助成	継続				
3. ワインぶどう祭り実行委員会補助金	ワインぶどう祭り開催運営に対する助成	継続				

## 5. 情報発信とおもてなしの推進

### 施策の内容

- ・富良野市の魅力的な観光情報や地域情報の積極的な発信による観光客誘客と市内回遊促進を図ります。
- ・富良野市の魅力である人柄の良さを向上し、市民総出でおもてなしをする意識を高めて、「訪れて良かった、住んで良かった」を言える観光客にも市民にも優しいまちづくりをめざします。

## 成果指標

(資料) 商工観光課

項目	平成20年	平成27年	備考
観光ボランティア登録者数	14人	50人	

## 実施計画予定事業

実施を予定している事業の内容		H23	H24	H25	H26	H27
1. ホスピタリティ向上事業	観光地としてのおもてなしの向上、人材育成、情報発信の推進	継続				